

## 5月12日 ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦 スタジアムを歓声が包む！

ジュビロ磐田がヤマハスタジアムにヴィッセル神戸を迎えたホームゲームを、市内小学5・6年生約3,200人が一斉観戦しました。この取り組みは、ホームタウンに住む子どもたちが、スポーツへの関心や地元チームへの愛着、ふるさと磐田への誇りを持つきっかけづくりなどを目的に毎年行われているものです。

当日の試合開始前には、ピッチ上で各クラスの代表児童がフラッグアトラクションを行い、勝利のVサインをつくりました（写真②）。

児童らは、試合が始まると「ジュビロ磐田」の掛け声を掛けたり、タオルマフラーを振ったりするなどして応援しました。児童らが応援に使ったタオルマフラーは、試合に先立ち4月16日(月)にポッカサッポロフード&ビバレッジ株から贈呈されたものです(写真③)。

試合は0対2で敗れてしまいましたが、観戦した磐田中部小5年の大場文智さんは「みんなと観ることができて楽しかったです。また応援に来たいです」と話してくれました。



- ①ジュビロ磐田に精一杯の声援を送り、選手を後押ししました。
- ②フラッグアトラクションでピッチ上にVサインを描きました。
- ③「子どもたちとともに磐田を応援していきたい」と一斉観戦用にタオルマフラーを寄贈していただきました。

## 5月9日 園児がカーネーション摘み お母さん、いつもありがとう！



▲お母さんの喜ぶ顔を思い浮かべて、笑顔になりました

磐田中部幼稚園の年長児42人が県立農林大学校でカーネーション摘みを行いました。

園児たちは好きな色のカーネーションを選び、農林大学校の学生と一緒に摘んだ後、花を包む透明のフィルムにお母さんの顔やお母さんが好きな物など、思い思いに絵を描きました。

花束はお母さんの似顔絵と一緒に、プレゼントされました。

## 5月21日 アース・キッズチャレンジ エコ生活に取り組みます



▲自転車発電で電気を作る大変さを実感しました

豊田東小学校でアース・キッズチャレンジの授業が行われ、4年生の59人が地球温暖化について学びました。児童たちはごみ分別ゲームやエコ生活大作戦などの体験から、自分なりのCO2削減の目標を立てました。参加した大石あんじさんは「これからは、テレビがつけばなしになっている時は消します」とエコリーダーとして家庭で実践する意気込みを話してくれました。

写真が動く！  
AR動画

ARのマークが付いた写真を専用のアプリを利用して撮影すると、あたかも紙面の写真が動いているかのように動画が再生されます。専用アプリ「ARラボ」は右記2次元バーコードからダウンロードできます。  
※アプリのダウンロードや使用にかかる通信料は、利用者負担となります



【ios用】



【android用】

## 5月18日 はごろも「夢」講演会 自身の経験をメッセージに込めて



▲生徒たちに目標や夢を尋ね、努力することの大切を伝えました

豊田中学校では、学校教育目標である「志をもち、たくましく生き抜く生徒の育成」をテーマに、毎年講演会を開催しています。本年度は、同校卒業生でシンガーソングライターの「こいで鮎美」さんを招きました。

こいでさんは「人生のきっかけになれば」という思いで、挫折を経験しつつもシンガーソングライターになる夢を叶えた自身の経験談を話しました。

## 5月12日 大池で初の野鳥観察会 生まれ変わった大池の魅力感じて



▲ウォーキングをしながら野鳥を観察しました

昨年度遊歩道などが整備された大池で、初めて野鳥観察会が行われました。約70人の参加者は大池外周のウォーキングコースを歩き、「日本野鳥の会遠江」の講師から説明を聞いたり、双眼鏡を使ったりしながら、アオサギやゴイサギ、オオヨシキリ、カワウなど20数種の野鳥を観察しました。

併せてまち美化パートナーの大日精化工業(株)東海製造事業所の協力で環境美化活動も行われました。

## 5月18日 園児が田植え体験 おいしいお米になあれ



▲みんなで一列ずつ丁寧に苗を植えていきました

磐田南幼稚園の園児約80人が田植えを体験しました。この体験は、田植えから収穫までを体験することで食への意識を高めることを目的としています。

園児たちに田植えを教えてくれたのは、地域にお住まいの鈴木隆さんです。恐る恐る田んぼに足を踏み入れた園児たちでしたが、慣れてくると青空の下で楽しそうに田植えをしていました。秋には稲刈り体験も行われる予定です。

## 5月18日 お茶DE-TSUNAGU交流会 新たなサービス創出のきっかけに



▲チョコレート菓子と4種の緑茶の食べ合わせなどを体験しました

ワークピア磐田内の「はじまりのオフィス」で「あなたのはじまり お茶DE-TSUNAGU交流会」が行われ、お茶に関わる事業者や菓子製造業者、起業家など15人が参加しました。

参加者は「緑茶の新しい魅力・視点の紹介」についての講演を聞いた後、スイーツに合わせた緑茶の飲み比べを体験し、食べ合わせや味、食感などの違いを比べていました。